

A. 主な動き

1. 内政

大統領選挙日程の決定

・20日、議会は、共産党、自由民主党及び民主党議員の賛成をもって、大統領選挙実施日を11月18日とする提案を承認、大統領選挙実施に関する特別委員会の設立及び大統領選挙への候補者登録を11月15日までとすることを決定。

・20日、ルプ大統領代行兼議会議長は、大統領のポストには拘らないとし、大統領選出のためのあらゆる可能性を模索する旨発言。一方、ギンブ自由党党首は、与党連合「欧州統合のための同盟」(AEI)の大統領候補はルプ大統領代行兼議会議長のみである旨発言。

・20日、ヴォローニン共産党党首は、大統領選挙日程の決定を評価するとし、議会に広い連立が誕生しつつある旨発言。

与党連合・AEIの動き

・17日、フィラト首相(自由民主党党首)は、ルプ大統領代行兼議会議長(民主党党首)が、ズブコ検事総長の罷免に関するプロセスを開始しないのであれば、ルプ大統領代行の罷免が検討されることとなる旨発言。

・17日、ルプ大統領代行兼議会議長は、ズブコ検事総長の罷免に関するプロセスを開始する意向はないとし、AEIの崩壊の可能性に言及。

・17日、ギンブ自由党党首は、AEIは既に死に至り葬られたとし、自由党は最早AEIを維持する可能性を有していない旨発言。

野党・共産党の動き

・17日、ヴォローニン共産党党首は、政治危機克服のための選択肢は議会政党4党による広い連立の形成もしくは期限前議会選挙である旨指摘、共産党はグレチャニ前首相とは別の政治的に中立な大統領候補を擁している旨発言。

議会の動き

・17日、チボタル財政市場国家委員会委員長は、国内の複数の銀行に対する敵対的買収に対する適切な処置を怠った旨のフィラト首相の指摘に応じて辞表を提出。20日、議会は、同委員長の辞任を承認。

・20日、議会は、同日予定されていた、銀行に対する敵対的買収に関するズブコ検事総長による議会に対する報告を27日に延期するべきである旨のルプ大統領代行兼議会議長の提案を承認。

2. 経済

マクロ経済他

・15日、欧州復興開発銀行(EBRD)は、2012年に1億ユーロをモルドバに貸与予定。

・17日、国家統計局は、2011年年初～8月までの工業生産は、前年同期比10%の伸びと発表。

・19日、EBRDは、2011年のモルドバのGDPを5.5%から6%に上方修正。他方、IMFは7%と予想。

3. 外政

18日、CIS 首相会合(於露サントペテルブルグ)

・フィラト首相は、プーチン露首相と会談、貿易・経済分野を中心とする二国間関係、新たなガス供給契約、モルドバ産ワインの露への輸出、沿ドニエストル問題等につき協議。

・フィラト首相は、首脳会合後に開催されたユーラシア経済共同体をテーマとする会合には不参加。

18日、モルドバ・EU協理理事会(於ブリュッセル)

・ゲルマン外務・欧州統合次官とウィーガンド欧州対外活動庁露・東方パートナーシップ・中央アジア局長は、モルドバ・EU協理理事会において、二国間関係、東方パートナーシップにおけるモルドバの活動状況、モルドバ国内の改革実施状況等につき協議。

・ルプ大統領代行は、ブゼク欧州議会議長と会談、モルドバの国内情勢につき協議。ブゼク欧州議会議長は、モルドバ・EU関係は、モルドバ国内の政治プロセスが如何なる結末を迎えるかに多くを負っている旨発言。

19～21日、フィラト首相のエストニア及びリトアニア訪問

・19日、フィラト首相及びレアンカ外務・欧州統合相は、在エストニア・モルドバ大使館において、在エストニア・モルドバ人と会談。

・19日、フィラト首相は、イルヴェス・エストニア大統領と会談、二国間関係、モルドバの欧州統合プロセス、エストニアによる対モルドバ支援等につき協議。

・19日、フィラト首相は、アンシブ・エストニア首相と会談、二国間関係、モルドバの欧州統合等につき協議。

・20日、フィラト首相は、パエト・エストニア外相と会談、二国間関係、モルドバの外交政策、モルドバの欧州統合プロセス、モルドバのエネルギー安全保障等につき協議。

・20日、フィラト首相は、クピリウス・リトアニア首相と会談、モルドバの欧州統合及び再統合、二国間関係等につき協議。

・21日、フィラト首相は、グリバウスカイト・リトアニア大統領と会談、二国間関係、リトアニアによる対エストニア支援、モルドバの改革実施状況、沿ドニエストル問題等につき協議。

・21日、レアンカ外務・欧州統合相は、アジュバリス・リトアニア外相と共にモルドバ・リトアニア欧州統合二国間委員会出席、欧州統合分野における二国間協力につき意見交換。ア

ジュバリス・リアニア外相は、2013年、EU議長国となるリアニアは、モルドバへの支援を継続していく旨発言。

その他

・19日、フィラト首相は、ブゼク欧州議会議長と電話会談、モルドバ・EU関係及びモルドバ国内情勢につき協議。ブゼク欧州議会議長は、モルドバ国内の政治問題が間もなく解決されるよう期待を表明、長期の発展と改革実施のためには政治危機の克服と政治的安定の確保が重要である旨発言。
・19日、第8回モルドバ・EU連合協定交渉ラウンドがキシナウにおいて開催。双方は、「司法、自由及び安全」の章に関する交渉を継続、FTA創設交渉開始に向けた準備状況につき意見交換。

4 . 沿ドニエストル

・18日、スミルノフ沿ドニエストル「大統領」は、ライチャーク欧州対外活動庁欧州・中央アジア局長と会談、沿ドニエストル問題解決プロセスにおける信頼醸成措置、「5+2」者公式交渉の日程等につき協議。スミルノフ沿ドニエストル「大統領」は、「5+2」者公式交渉において、モルドバの領土一体性に関する問題は議題として受け入れられない旨発言。
・20日、ヤストレプチャク沿ドニエストル「外相」は、CISの枠組みにおけるFTA創設合意に関し、沿ドニエストルは、露を中心とする統合プロセスを歓迎し、右に参加する用意がある旨発言。

・20日、ヤストレプチャク沿ドニエストル「外相」は、11月初旬、沿ドニエストル問題解決に関する交渉プロセスの保証国、仲介国及びオブザーバーの代表者が沿ドニエストルを訪問する予定と発表。

5 . 防衛

武器輸出

・18日、チラナトップテレビ・ウェブサイトは、モルドバで弾薬を積載したモルドバ船籍の船がイラクに向かう途中、アルバニア当局によって停止させられ検査されている旨報道。
・19日、運輸道路インフラ省は、アルバニアで停船しているモルドバ船籍アルバニア人所有の船は通常の検査で抑留ではない、また文書上武器はイラクに向かっていたが引き続きどこに向かっていたかを確認中である旨発表。
・20日、議会は、モルドバ軍の武器委託販売を調査するための委員会設置を承認。

その他

・19日、国防相は、エストニアと防衛協力に関する覚書を締結した旨発表。
・20日、モルドバ、沿ドニエストル及びロシアは、沿ドニエストル安全保障地帯で平和維持軍による合同演習を実施。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)